

平成23年度個別施策ヒアリング資料(優先度判定)【経済産業省】

施策番号	27019	施策名		脱化石燃料のためのリチウムイオン電池の価格低減に向けた用途多様化応用研究開発事業			
新規/継続	新規	領域	グリーン・イノベーション	国際的位置付け	世界最先端	AP施策	
競争的資金		e-Rad	○	社会還元			
施策の目的及び概要	本事業では、リチウムイオン電池を自動車などの特定用途だけでなく、CO2削減が期待できる産業用、住宅用など様々な新規用途へ活用するための技術開発を支援する。用途多様化により量産効果を発揮し、価格低下を促進することで、各分野でリチウムイオン電池の普及が図られ、CO2削減に貢献する。						
達成目標及び達成期限	2015年までにリチウムイオン電池の新規用途(産業用、住宅用など)の実用化・普及を実現することを目標とする。						
研究開発目標及び達成期限	リチウムイオン電池の価格について、2015年までに現在の10万円/kWhから2万円/kWh(※)を実現する。 ※NEDO二次電池技術開発ロードマップでは、電気自動車や産業用機械など脱化石燃料に役立つ分野への普及に必要な価格として2020年までに2万円/kWh程度を実現することを目標として設定しているが、これを5年前倒しすることを目指す。						
23年度の研究開発目標	NEDO二次電池技術ロードマップに沿って、 ・出口用途を見据えた要素技術開発 ・電池メーカーとアプリケーションメーカーの連携により実用化を見据えた応用技術開発を実施する。						
施策の重要性	リチウムイオン電池は、電気自動車への活用などを通じ、脱化石燃料の切り札となるデバイスであるが、価格が高いため普及が進んでいない。価格低下により脱化石燃料を実現するためには、自動車など特定用途だけでなく、産業用、住宅用など様々な用途への電池の実用化により量産効果を発揮することが必要である。						
実施体制	事業実施にあたっては、公募により対象事業、実施者を選定。商品実用化を見据えて電池メーカー、アプリケーションメーカー、NEDOの連携により効率的に研究開発に取り組む。						
H22予算額(百万円)				H23概算要求額(百万円)			
-				500			
独立行政法人名(運営費交付金施策のみ)				NEDO			
H23概算要求額の内訳	事業費:490 研究開発管理費:10 -						
期間	H23~H25			資金投入規模(億円)	45		
これまでの成果(継続のみ)	-						
社会情勢・技術の変化(継続のみ)	-						
昨年度優先度判定(継続のみ)	-	優先度判定時の指摘への対応(継続のみ)		-			

国民との科学・技術対
話推進への対応(対象
施策のみ)

—